

編集 環境パートナーシップちば
代表 桑波田 和子
事務局 千葉市中央区中央港1-11-1
(一財)千葉県環境財団業務部
環境活動支援課気付
電話 043-246-2180
FAX 043-246-6969



平成28年度は、～1につなぐれ 2につなぐれ 3にひろがれ～ 環境パートナーシップちば代表 桑波田 和子

若葉が美しい季節となりました。会員の皆さま、ご来賓の千葉県循環型社会推進課副課長の小泉様、嶋田様、千葉県環境財団業務部次長の須藤様には、ご多忙の中ご参席いただきありがとうございます。

おかげさまで、環境パートナーシップちばは、27年度の事業を無事終え、28年度の歩みをスタートいたします。

当会は、平成9年6月に設立し、今年は20年となります。赤ちゃんが成人式を迎えると思えば、会員の皆様はじめ、企業・行政等多くの方のご協力をいただき継続できたことに感謝です。

20年を迎え、当会も責任のある団体、協働を推進する中間支援団体としてより進みたいと、NPO 法人格取得など検討したいと思っております。総会

では、皆さまのご意見をいただき、今後の活動に活かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

平成27年度の主な事業は、エコセミナー（主催：千葉県）、地球温暖化についての講演会や、エコメッセ2015in ちばの開催などでした。また、エコメッセちばは、20周年の記念の開催でした。

28年度の主な活動は、千葉県より受託した「環境講座」と法人格取得への検討ですが、協働を推進活動も積極的に進めていきたいと思っておりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

当会の今後の活動のためにも、若い会員の方が新しい視点で、壮年の会員の思いを継承（つなぐれ）いただきたく願っています。

「環境パートナーシップちば」定期総会来賓挨拶

千葉県 循環型社会推進課 副課長 小泉直弘

千葉県 循環型社会推進課 副課長の小泉と申します。本日は、総会にお招きいただきありがとうございます。

「環境パートナーシップちば」の皆様におかれましては、日頃、地域の環境保全活動から、地球温暖化対策、循環型社会づくりなど、幅広い活動を実践され、県の環境学習アドバイザーとしての活動や、本年2月には水素の普及啓発を目的としたエコセミナーの開催など、本県の環境行政の推進に御協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

また、今年で21回目の開催となるエコメッセにつきまして、桑波田代表をはじめ、会員の皆様には長年多大な御尽力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

さて、昨年末に国連の「気候変動枠組み条約第21回締約国会議」において、地球温暖化対策のための新たな国際的枠組みである「パリ協定」が採択され、国の「地球温暖化対策計画」が5月13日に策定されたところです。

現在、県でも新たに「千葉県地球温暖化対策実

行計画」の策定に向けて作業を進めているところであり、その計画の中でも、地球温暖化対策の取り組みを効果的に推進するためには、幅広い世代へ効果的に啓発を行うことが必要であるとしています。

このような状況の中、「環境パートナーシップちば」は、様々な団体と連携し、県民の環境保全活動の輪の中核として大変重要な役割を果たしていただいております。

県としましても、今後一層、環境学習や環境保全活動の支援、人材の育成に取り組むほか、引き続き皆様方をはじめ、様々な主体との連携・協働に努め、支援してまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解とご協力をよろしくお願いいたします。

終わりに、「環境パートナーシップちば」の今後ますますの御発展と、会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



環境パートナーシップちば 平成28年度(第20回)総会 ご挨拶 一般財団法人 千葉県環境財団業務部 須藤 雅彦

ただいまご紹介いただきました、千葉県環境財団の須藤と申します。

本日は第20回目となる総会の開催、誠にありがとうございます。

「環境パートナーシップちば」は創立当初から当財団とたいへん関わり合いが深く、現在まで良きパートナーとして、共に郷土の環境保全に取り組んでいただいておりますこと、感謝申し上げます。

当財団は、環境調査・分析業務のほか、千葉県いすみ環境と文化のさとセンターの管理や、千葉県地球温暖化防止活動推進センター、エコアクション21地域事務局、ちば環境再生基金など、行政の補完的業務として、環境保全に取り組んでいる皆様のお力になるべく活動しておりますので、今後とも当財団へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、貴会の設立は平成9年6月29日と伺いました。様々な環境活動グループのゆるやかな連帯のもとに活動を開始され、あと1か月ほどで

19年目の誕生日を迎えられます。会員の皆様の今日までの環境保全に係るご尽力には、あらためて敬意を表する次第です。

貴会の特徴は、会員の皆様の多くが、それぞれ母体となるグループの環境活動を行い、基盤を持たれていることから、いわゆる“多様性”が高いことだと思います。このことは、ナガエツルノゲイトウの対策のためのフィールドワークや、盛況、充実ぶりに目を見張る「エコメッセちば」など、様々な活動に表れていると思います。さらに、現在は法人格の取得の検討をされていると伺いました。今後の活動の展開にも、たいへん期待を寄せております。

最後に、「環境パートナーシップちば」のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念して、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。



環境パートナーシップちば平成28年度総会報告

今年度(第20回)総会が、平成28年5月21日(土)、千葉市生涯学習センター研修室1で21名の参加を得て開催されました。

環境パートナーシップちば 桑波田和子代表の挨拶の後、千葉県環境生活部循環型社会推進課副課長 小泉直弘氏、一般財団法人 千葉県環境財団業務部次長環境活動支援課長 須藤雅彦氏から来賓挨拶をいただきました。

その後、議長に芦川義勝氏、書記に高瀬充子氏を選出し、総会議題(1)~(3) 平成27年度の事業報告・会計報告・会計監査報告、(4)~(7)平成28年度事業計画(案)・NPO法人設立準備会設置・予算(案)・役員(案)について審議し、すべて全会一致で承認されました。

環境パートナーシップちばは県内の個人及び環境団体をゆるやかにつなぐことを目的に設立され活動を行ってきましたが、創立20年を迎える平成28年度は、環境学習を含めた公的事業の委託範囲の拡大に向け、より責任ある団体、より持続可能な団体になることをめざして、法人格の獲得による組織体制の見直しをはかることをめざし、

NPO法人設置準備会を設置し検討を行い、総会に諮ることを目指すことになりました。

総会終了後、第2部としてエコサロンにおいて、桑波田代表より本年3月に受講された米国カリフォルニアのNatureBrige GOLDEN GATE校及びヨセミテ自然公園における、米国の環境学習研修受講・体験報告をお聞きしました。その後、交流会として参加者から自身の活動を含めた意見発表・交換を行い終了しました。(文責 川島謙治)



平成28年度事業計画

—今年度は県環境講座と法人格取得が大きな柱です—

総会で承認された平成28年度環境パートナーシップちば事業計画は、以下のとおりです。

◆ 情報活動

ホームページ、環パだより、環パ通信その他を使って、環パをはじめ市民活動団体、県・市町村の環境保全活動の紹介、広報・情報発信を行う。

◆ 主体的活動

1 環境学習活動

1) 環境学習プロジェクトチーム

環境学習プログラム集の作成し、それを活用して環境学習を実施する。

2) 平成28年度環境講座実施業務（主催：千葉県）を企画・実施する。★

2 「印旛沼をきれいにする活動」

印旛沼流域圏交流会、印旛沼流域環境・体験フェア市民企画部会への参画、印旛沼流域水循環健全化会議の諸活動において、県・流域市町との連携を推進する。

3 環境パートナーシップ・エコサロン

今年度は県環境講座として多くの講演会を開催するので、エコサロンはタイムリーなテーマが発生した場合に開催する。

4 エコメッセちばプロジェクト

実行委員として参画し、エコメッセちば2016の事務局機能を担当する。

5 環境学習コーディネーターネットワークの会（ELCo）の活動

6 市民団体・企業・行政・大学と連携した環境活動

7 環境活動支援の相談窓口及び委員、講師の派遣

8 ネットワーク活動

市町村環境フェア等、パートナーシップ事業に参画・参加する。

9 運営委員会

原則として月に1回開催する。

10 NPO法人設立準備委員会の設置 ★

環境パートナーシップちばの法人格取得に向けて、実務も含めて準備を行う。

今年度の事業計画は大筋では例年通りですが、★をつけた2つの事業、すなわち、県から受託した「環境講座の実施」と「法人格取得」が、特に重要な事業です。環境講座の受講などを始め、皆様の積極的な参加・ご協力をお願いいたします。
(事業部 小倉久子)

エコサロン

「サンフランシスコでの環境教育プログラム体験報告」を聞いて

総会後の交流会（第69回エコサロン）は、桑波田和子氏による「サンフランシスコでの環境教育プログラム体験報告」でした。訪問先は、アメリカの環境学習のための施設で「ネイチャーブリッジ」の、GOLDEN GATE校の「Redwood Forest」「National Recreation Area」。ネイチャーブリッジは1971年に設立。主に寄付やボランティアで運営され、青少年に環境科学の体験学習を提供している。

年間3万人以上が生徒として訪れ、6か所の国立公園を舞台に自然界の驚異と科学へいざない、積極的に将来への意思に影響を与えることを目的としている、というところらしい。

とにかくスケールが大きい。例えば、Redwood Forestの資料を見ると、世界で一番背の高い木360フィート（約110m）以上。ジャイアントセコイアは3,000年以上（縄文杉も推定樹齢3,000年）。1944年に中国の僻地で小さなレッドウッド（約43m）が発見された、などの内容があり、サイズ、時間、地理的にも規模が大きい。

生徒は、自然の中に入る身支度を整え、観察をし、知識のサポートを受け、自然を体感する。その中で、自分の意思を表現する。豊かな自然、丁寧で絵にいたるまでクオリティーが高い学習資料、経験豊かなガイド。なんとも魅力的な施設のように見受けられます。

環境科学は、とにかく学びの基本中の基。そこを教養の出発点として様々な分野でよりよい社会を発展させていく総合力のある人材が大勢育っていくことが、我々の「希望」だという気がします。右肩上がりの贅沢に身を委ねてきてしまった私たちですが、せめてもの償いに、微々たる力でも尽くさなければならない、という気持ちになりました。

桑波田さん、貴重な報告をありがとうございました。

(文責 中村明子)



平成28年度千葉県環境講座のご案内

千葉県では、「持続可能な社会づくりに向けて、豊かな感受性を育み、問題解決力を身につけ、主体的に行動できるひとづくり」をめざした環境学習推進の一環として、環境講座を実施しています。

本年度は、7月から来年1月までに、県内各地において、子どもから大人までを対象として、各種講演や体験活動、施設見学（バスツアー）など、様々な講座を開催します。千葉県在住・在勤・在学の皆様のご参加をお待ちしています。

1. 内容

- (1) 子ども向け講座：次世代を支える子どもたちに環境問題を考えてもらう体験講座
- (2) 一般県民向けの講座：環境問題を考える「きっかけ」作りとして行う講演等の講座
- (3) 環境活動に取り組んでいる県民向けの講座：指導者を養成するため、指導方法を学ぶ

	講座名	講師	日時	場所	定員・対象
子ども向け講座	夏休み 親子で作ろう！かわいい！カラフル！エコはがき	廣田由紀江氏（環境カウンセラー）	7月28日(木)10時～12時	五井会館（市原市）	20組40名／小学1～6年生の親子
	【バスツアー】夏休み海の生きものと会える日	神保清司氏（NPO法人千葉自然学校）	8月4日(木)8時～17時	大房岬自然公園（南房総市）	20組40名／小学1～6年生の親子
	【バスツアー】夏休み里山の生きものと会える日	（特活）NPO 富里のホタル	8月19日(金)8時30分～16時	天神谷津（富里市）	40名／小学4～6年生
	こども環境会議ちば	関隆嗣氏（国際青少年研修協会）	9月22日(木・祝)10時～14時	幕張メッセ国際会議場（千葉市）	100名／「こどもエコクラブ」
	体験 太陽熱温水器を作ろう	春田育男氏（温暖化防止流山代表）	11月19日(土)13時30分～16時	さわやかちば 県民プラザ（柏市）	20組40名／小学1～6年生の親子
一般県民向けの講座	講演 地球温暖化とどう向き合うか	高橋潔氏、広兼克憲氏（国立環境研究所職員）	7月1日(金)13時30分～16時30分	きぼーる（千葉市）	60名／18歳以上の方
	こどもエコクラブサポーター会議@ちば	川村研治氏（全国事務局長）	7月2日(土)13時～16時	浦安市中央公民館	30名／サポーター
	【バスツアー】大人の施設見学～産廃ごみを宝にする	石坂産業（株）	7月13日(水)8時30分～17時	石坂産業（埼玉県入間郡）	40名／18歳以上の方
	講演 環境研究センターの最新の調査・研究の紹介	千葉県環境研究センター職員	8月11日(木・祝)10時～12時30分	千葉県青少年女性会館（千葉市）	100名／18歳以上の方
	森の観察会～なるほど！これが木の生命力	森浩也氏（樹木医・千葉県北部林業事務所）	10月22日(土)9時30分～12時	佐倉城址公園（佐倉市）	25名／18歳以上の方
	講演 ローマ法王に米を食べさせた男	高野誠鮮氏（羽咋市元職員・立正大学客員教授）	11月20日(日)13時30分～15時30分	船橋市周辺（未定）	100名／18歳以上の方
	講演 生活の中にある化学物質リスク	内藤季和氏・半野勝正氏（環境研究センター職員）	12月11日(日)10時～12時	浦安市中央公民館	40名／18歳以上の方
	講演・体験 海に漂うマイクロプラスチックの脅威	高田秀重氏（東京農工大農学研究院教授）	12月11日(日)13時30分～16時30分	浦安市中央公民館	60名／18歳以上の方
	【バスツアー】最新！ゴミ発電見学と老舗！蔵元見学	成田富里いずみ清掃工場・飯沼本家（株）	1月19日(木)9時～16時	成田富里清掃工場・飯沼本家	40名／18歳以上の方

活動に取り組んでいる市民向け講座	リーダー養成講座～第1回 明日から使えるKP法	川嶋 直氏（日本環境教育フォーラム理事長）	9月11日（日）10時～16時	千葉県青少年女性会館（千葉市）	40名／リーダー実施者・希望者※
	リーダー養成講座～第2回 KP法・ITの活用で発信！	市野 敬介氏（NPO法人企業教育研究会）	11月5日（土）10時～16時	千葉県青少年女性会館（千葉市）	20名／リーダー実施者・希望者※
	リーダー養成講座～第3回 聞くことから始める団体運営	NPO団体	11月26日（土）10時～16時	千葉県青少年女性会館（千葉市）	20名／リーダー実施者・希望者※
	リーダー養成講座～第4回 作ってみよう活動プログラム	環境パートナーシップちば	12月3日（土）10時～16時	千葉県青少年女性会館（千葉市）	20名／リーダー実施者・希望者※

※リーダー養成講座は、4回連続参加が望ましいですが、各回毎の参加も可能です。ただし、第2回目は第1回参加者に限ります。

2. 参加費用：無料

3. 申込方法

往復葉書、E-mailまたはFAXに下記項目を記入の上、お申し込みください。（2週間前申込期限必着）なお、応募多数の場合は抽選となります。①参加希望講座名 ②参加者氏名・全員（ふりがな）③性別 ④年齢⑤自宅の住所・電話（携帯）・FAX番号・E-mail等

■往復ハガキ（住所は下記） ■E-mail (kenkouza@kanpachiba.com) ■FAX (043-246-6969)

4. 申込・問い合わせ先

環境パートナーシップちば 千葉県環境講座事務局

〒260-0024 千葉市中央区中央港 1-11-1

（一財）千葉県環境財団業務部 環境活動支援課気付

TEL 090-8116-4633※土日・祝日を除く 平日9時から17時

5. 詳細は、千葉県ホームページ「環境講座等に関する情報」をご参照ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/wit/jouhou/kouzaikeika.html>

第21回エコメッセ2016in ちば 出展者募集！！

～みつけよう私のCOOL CHOICE～

環境について、見て！体験して！考えて！、持続可能な社会の実現を目指して開催します。子どもから大人まで、千葉県内外から来場者があります。千葉県最大の環境活動見本市です。

団体、企業、学校、行政の出展者を募集しています。

早期出展の割引（6月30日まで）もあります。出展内容、申し込みは、エコメッセちば実行委員会のホームページを検索ください。

<http://www.ecomesse.com/>

開催日：9月22日（木・祝）10：00～16：00

会場：幕張メッセ国際会議場

主催：エコメッセちば実行委員会

募集区画：200区画（募集区画数に達し次第、機関に関わらず締め切りとさせていただきます）

区画の広さ：1区画（2m×2m）

出展料：企業・行政……1区画 ￥20,000円
市民団体・大学……1区画 ￥8,000円
高校・学生団体……1区画まで無料、

2区画から￥8,000円/区画

電気使用料：電気（タップ2個口500wh以下）
使用の場合は、出展料とは別途仕様が
かかります

企業・行政……500whごとに￥4,000円

市民団体・大学・高校・学生団体

……500whごとに￥2,000円

応募締め切り：7月31日

※申し込み後1週間以内に、出展料及び電気使用料をご入金ください。（入金確認後、正式受付になります）

★★早期出展割引（6月30日締め切り）……申し込み後1週間に内に料金振り込み完了に限る
企業・行政…… ￥18,000円（1区画）
市民・大学…… ￥7,000円（1区画）

第13回里山シンポジウム in 南房総を終わって

里山シンポジウム実行委員会 代表 並木秀幸

去る5月15日(日)、第13回目となる里山シンポジウムが南房総市にて開催された。本大会のテーマは「里山里海の恵みと食」、サブテーマは「南房総お国じまん」であった。里山を考える上では、地域が元々持っている魅力や能力を改めて認識し、地域のあり方を再考することが重要である。地域の部外者(風の人)の視点と、地元住民(土の人)の視点、2つの視点から南房総という地域を捉えなおそうというのが、本大会の趣旨であった。

基調講演の講師は延藤安弘氏。「風の人、土の人」という言葉の生みの親であり、地域づくり実践の第一人者である。「幻燈」と呼ばれる独自の手法で、地域の魅力を再発見する手法やその楽しさが紹介された。まるで紙芝居か演劇を見ているような、素敵な講演であった。

また分科会では、地元団体が主体となって、南房総地域で実践されている9つの先進的な取り組みが紹介された。加えて全体会の中では、南房総市内の旧7町村と近隣3市町(館山市、鴨川市、鋸南町)の各代表による「お国じまん報告」が実施され、地域の魅力を広く発信した。コメンテ

ターの千葉氏(イオンリテール株式会社)の「他人の前で地元を褒めることで、広がり生まれる」というコメントが印象に残る。海や食に関する話題が目立った点も、南房総市の魅力を表していたように思う。

本大会は、あくまでも一つのきっかけである。「土の人」である地元団体の皆さんが一堂に会し、「風の人」である市外の人々が会場に訪れた訳であるが、この出会いが、今後の南房総での新たな動きのきっかけとなることを期待したい。



大学生パワーに感激！ ナガエツルノゲイトウ協働駆除作戦

平成28年度第1回ナガエツルノゲイトウ協働駆除作戦が5月29日に行われ、高瀬・小倉・桑波田の3名が参加しました。駆除する場所は昨年度に引き続き、桑納川の河口部分(八千代市)です。爽やかな晴天の下、今回はIVUSA(国際ボランティア学生協会)の大学生の応援を得て、総勢100名を超える体制で臨みました。

ナガエツルノゲイトウはもうすっかり育って、大きな群落両岸に連なっています。所々群落のないところがありますが、ここは昨年度に集中して駆除したエリアで、昨年度の苦労は無駄ではなかったと思いました。

健全化会議 生態系WGの長谷川雅美先生の挨拶、西廣淳先生の駆除作業の説明の後、いよいよ駆除活動開始です。

IVUSAの若者たちは非常に礼儀正しく、真剣に、でも楽しそうに、本当によく働いてくれました。ただ言われた通りに動くのではなく、一人ひとりが考えながら、でも、みんなで力を合わせて作業をしている様子には、感激してしまいました。

若者集団のパワーは期待以上にすばらしく、作業終了時には写真のように見違えるほどさっぱりした桑納川になりました。群落が消えただけでなく、水中や陸上部に散らばった小さな茎1本も全

部拾いつくすという、まさにパーフェクトな作業でした。

次は夏休み(8月)に、もっと大勢の学生さんたちが駆除活動に来てくれることになっています。IVUSAさんに元気をもらいながら、地元の私たちもうまく協働していければよいと思いました。

IVAUSAの皆さん、本当にありがとう！！

(文責 小倉久子)



< 駆除前 >



< 駆除後 >

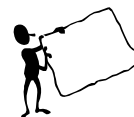


県内の環境保全活動人（団体）紹介 — 33 —

おききました！ この人・この団体

「水辺で楽しく遊べるまちに」

浦安水辺の会 横山清美



三方を水辺に囲まれた浦安で、水辺を地域資源と考えた市民が集まって、平成17年に浦安水辺の会は立ち上がりました。

発足時の提案を見返すと「市民が親しめる安心・安全な水辺の創生とまちづくり活動」として、船を活用した浦安を水辺から見るガイドの養成、子どもを対象にした水辺体験活動、水辺に関わる浦安内外の団体との交流・連携が挙げられています。これが現在の活動中の「市民Eボート体験乗船・水辺ガイド・セルフガイドマップづくり・親子向けのハゼ釣り教室」として実施・継続をされていて、あっという間に10年が過ぎていました。

水辺に囲まれたと言いながら、浦安市域の4分の3は埋め立てられたところで護岸に囲まれ、大部分が水辺への立ち入り禁止になっていることは、10年前と変わりません。全国的な水辺の現実とも共通していて、危ないからと川や水辺に背を向けてきた結果、ますます危ない水辺になったのだと思います。だから危ないことを知って安全に安心して水辺で楽しく遊べるようにしていく活動は大切と考えています。

浦安の中心を通っている「境川」の西と東の水門で仕切られて閉鎖的になっている水域では、親水性護岸となっているので、毎年浦安市も「カフェテラス in 境川」という市民のための水辺のお祭りを開催しています。2016年は、5月28日29日の2日間開催され、当会もEボート体験乗船を

実施させていただきました。Eボートは、10人乗りの安定性の良い手漕ぎのゴムボートですので、幼児から大人まで家族でも楽しんで乗っていただけ、水に触れる、水辺から街の景色を見られる貴重な体験ができる機会と考えて活動をしています。

会の発足間もない頃、このEボートに乗り利根川の上流から江戸川を通して浦安まで150キロの「川下り」を、6日間かけて流域のみなさんと交流しながら実施しました。これは残念ながら継続できていませんが、その時の9月から11月という台風や大雨の後の川が大木からプラスチックまでゴミでいっぱいだった様子を見てきた体験から、水辺のゴミ拾いにも積極的に参加しています。

そして、安心して水辺に近づくにはライフジャケットが必要と学んでから、夏休み親子ハゼ釣り教室の際にライフジャケット着用を含めた水辺の安全教室を実施しています。この安全教室を紙芝居にして誰でもできるようにと考案中です。ライフジャケットの必要性もアピールしながらハゼの釣り方とハゼの生態について学んでいただき、東京湾の環境指標生物としてのハゼの調査もしていることを知っていただく環境学習として毎年20組の親子が参加してくれています。

このように水辺で楽しく遊べるようになることを目標に今後も活動していきたいと思っておりますので、ぜひお仲間になってください。お待ちしております。



桜とEボート



親子ハゼ釣り教室



境川Eボート

運営委員会報告

環パ通信【メルマガ】ご希望の方はアドレスを
info@kanpachiba.com にお知らせください。
(広報部)

4月運営委員会

日時 4月13日(水) 18:00~20:00

場所 船橋市民活動センター

【報告】

- ・千葉県環境講座受託決定
- ・エコメッセちば実行委員会総会開催(4/12)
- ・その他

【協議】

- ・だより109号
- ・総会準備
- ・環境講座について
- ・その他

5月運営委員会

日時 5月11日(水) 18:00~20:00

場所 船橋市民活動センター

【報告】

- ・エコセミナー
- ・印旛沼流域環境・体験フェア市民企画部会(4/28)
- ・印旛沼流域環境・体験フェアは10/29・30開催
- ・千葉市環境講座プログラム提出
- ・ナガエツルノゲイトウ協働駆除作戦(5/29)

【協議】

- ・総会準備
- ・環境講座について
- ・エコメッセ2016inちば出展
- ・だより109号印刷(6/6)
- ・その他

お知らせ

おめでとうございます!

「特定非営利活動法人せっけんの街」が第18回日本水大賞の市民活動賞に選ばれました!

応募総数151件の中からの受賞で、「地域の中で一人一人が参加する環境保全型街づくり」という活動に対して授けられたものです。

1980年の合成洗剤追放の直接請求運動から始まった「NPOせっけんの街」ですが、現在は、廃食油石けんの製造・販売だけでなく、雨水貯留タンクの普及活動なども行っています。市民活動賞は、この長年にわたる市民活動が評価されたと聞いております。

表彰式は6月21日に日本科学未来館(東京都)で行われます。

国立環境研究所 公開シンポジウム2016 守るべき未来と「環境」の今

～地球・生物・循環・社会の半歩先を語ろう～

開催：6月24日(金) 11:45~17:45

会場：メルパルクホール

(東京都港区芝公園2-5-20)

概要：6つの講演及び、研究者が来場者と対話をしながら説明するポスター発表(19件)

参加費：無料

主催：国立研究開発法人国立環境研究所

申し込み：ホームページ(<http://www.nies.go.jp/event/sympo/2016/index.html>)

をご覧ください

「環境パートナーシップちば」は、環境活動の推進と充実を目指し、千葉県内の環境市民のゆるやかな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、行政及び専門家とのパートナーシップによる活動の展開を図ることを目的としたネットワークです。

入会申込先：(一財)千葉県環境財団

業務部環境活動支援課 気付

TEL:043-246-2180 FAX 043-246-6969

Eメール: info@kanpachiba.com

会費納入先：環境パートナーシップちば

郵便振替口座 00160-9-401872

<環境パートナーシップちば>

入会申込書

会の趣旨に賛同し(個人、団体、賛助会員として)

会費を添えて(郵便振替)入会します

氏名		入会年月日	
住所	〒		
Eメール			
TEL		FAX	
年会費	個人1,000円 団体2,000円 賛助会員5,000円		